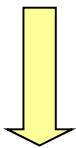


指定した所在地内の地番又は家屋番号の一覧を表示させる機能について

不動産登記情報(土地又は建物の登記情報)を「所在指定」方法で請求する際に、目的とする不動産の所在のほか、土地を請求する場合は「地番」を、建物を検索する場合は「家屋番号」を指定して検索を行います。地番又は家屋番号の指定方法は、直接入力する方法と一覧の中から選択する方法があります。ここでは、後者の、地番又は家屋番号の一覧を請求する方法を説明します。

【地番又は家屋番号の一覧を請求する方法】

利用者IDでログインし、不動産請求タブの『請求事項入力』画面を表示させます。



【範囲指定注意】

表示範囲は、10までの間の親番としてください。
例) 「1~10」、「80~89」、「1-1~10-20」、「80-1~89-5」等

枝番を入力しないで検索を行っても、指定した範囲の親番に枝番のある地番又は家屋番号が現存していれば、検索結果に表示されます。

① 「所在指定」をクリックします。

② 「土地」又は「建物」をクリックします。

※ 「土地」を選択した場合、一覧は現存する地番の一覧が表示されます。「建物」を選択した場合、一覧は現存する家屋番号の一覧が表示されます。同時に地番と家屋番号の一覧を請求することはできません。

※ 閉鎖された地番及び家屋番号は表示されません。

※ 一覧から選択できる地番又は家屋番号は最大10個までです。

③ 「都道府県」を選択します。

④ 「所在選択」ボタンをクリックし、「所在」を指定します。

⑤ 「地番・家屋番号一覧」ボタンをクリックします。『地番・家屋番号選択』画面が別のウィンドウで表示されます。

地番又は家屋番号一覧を検索する方法は2通りあります。

数字又はハイフンのみの地番又は家屋番号を検索する方法

請求する地番又は家屋番号の範囲を任意に指定して検索する方法

- ・ 「数字又はハイフンのみの地番・番号」にチェックします。「表示範囲」欄に検索する地番又は家屋番号の範囲を入力します。

数字又はハイフン以外の文字を含む地番又は家屋番号を検索する方法

例) 「1・2合併」、「甲1234」等
・ 「数字又はハイフン以外の文字を含む地番・家屋番号」にチェックします。検索対象を絞り込む場合は「表示範囲」欄に検索範囲を入力します。

例) 「50-乙~59-乙」と入力した場合、「50-乙、53-乙」等が検索結果に表示されます。
「乙~乙」と入力した場合、「乙1」、「乙-2」、「3-乙」、「4乙-1」等が検索結果に表示されます。

⑥ 「検索」をクリックします。同画面の下段に一覧が表示されます。

【地番又は家屋番号一覧から請求する地番又は家屋番号を選択する方法】

地番又は家屋番号の一覧は『地番・家屋番号選択』ウィンドウ下段に表示されます。

① 請求する地番
又は家屋番号
にチェックを
入れて選択
します。

すべての選択を
一括して取り消したい
場合は、このボタンを
クリックしてください。

選択(チェック)した地番又は家屋番号はここに表示されます。
※ 一覧が多数に及ぶ場合は、一頁につき100件ずつ表示され「次へ」ボタンが活性化します。
続きの一覧は、「次へ」ボタンをクリックして表示させます。
(前の一覧に戻る場合は、「前へ」ボタンをクリックします。)

- ② チェック終了後、「確定」ボタンをクリックしてください。
『地番・家屋番号選択』画面が閉じられ、『請求事項入力』画面の「地番・家屋番号」欄に、
チェックを入れて選択した地番又は家屋番号が、自動で入力されます。

※ 不動産登記情報を請求する全体の流れは、トップページ操作ガイドからご確認願います。